



# 伊江島 広 報

No.365

平成22年 4 月号

# ハー ハッシャー

## 我が島の誇り



## 伝統芸能の保存

琉球新報活動賞（文化・芸術部門）を受賞した「伊江村民俗芸能保存会」と財団法人伝統文化活性化国民協会より、地域伝統文化功労賞を受賞した大城賢雄氏を祝う合同祝賀会が4月6日、改善センターホールで開かれました。

祝賀会には、親族をはじめ関係者ら約200名が集まり、三線や舞踊など多彩な舞台やあいさつで受賞者の功績を祝いました。

民俗芸能保存会は「昭和48年の結成以来、国の重要無形民俗文化財「伊江島の村踊」の保存継承にご尽力された功績」が認められての受賞、大城賢雄氏は「昭和23年頃から独学で三線を始め、三線を通して古典音楽の研鑽を続け後進の指導にも尽力した」としての受賞となりました。

伊江村の伝統文化は今日でも不滅の輝きを保っているも

のと、感慨を深くしているものであります。さらに貴重な歴史を発展させ、同時に、地域文化の尚一層の確立に寄与され、なお一層のご活躍を祈念いたします。

村の世帯数と人口の比較（3月31日現在）					出 3 生 月 児 の 数
	昭和45年 (40年前)	平成2年 (20年前)	平成22年	先月比	
世 帯 数	1,426	1,822	2,193	△15	
総 人 口	6,923	5,558	4,914	△54	3
男	3,331	2,765	2,482	△22	2
女	3,592	2,793	2,432	△32	1



## 平成二十二年 施政方針

健康で明るく豊かな活力ある  
村づくりを目指して！

三月九日、村議会三月定例会が開かれ大城勝正村長より平成二十二年施政方針の表明がありましたので、その全文を掲載します。

平成二十二年の村の一般会計予算は「健康で明るく豊かな活力ある村づくり」に邁進するため、一般会計予算は三十五億三千八百万円となっています。

## ● はじめに

平成二十二年第三回伊江村議会の開会にあたり、村民の皆様並びに議員各位のご健勝を心からお喜び申し上げますとともに、日々の御精励に対し深く敬意を表します。

この度の議会は、平成二十二年の村政運営の基本となります。予算案や多くの重要な案件について御審議をお願いするものであります。議案の審議に先立ち、平成二十二年の村政運営に当たって、私の所信の一端を申し上げ議員各位並びに村民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は昨年（平成二十一年）



平成22年度の施政方針を発表する  
大城勝正村長（3月定例議会）

四月に村民皆様をはじめ議員並びに各団体の心からの温かい励ましと寛大なる心を授けられ二期目も無投票の栄誉に浴することができ、感慨ひとしおなるものがあります。また、新たな100年へ躍進する元年と位置づけ、村民の負託にお応えするため責任の重さを日々痛感しながら村民が

豊さを享受できるよう行政運営を進めているところであります。

平成二十一年度は、世界的に政治、経済、環境等で揺れ動いた年ではなかったでしょうか。リーマンショック以降、日本経済も企業倒産をはじめ雇用の縮小及び解雇につながり働く場を失い路頭に迷う労働者が増え失業と経済悪化のダブルパンチに見舞われた年でありました。国においてはそれらを打開すべく緊急雇用対策並びに第二次補正予算が組まれ徐々に緩和の方向にはあるものの未だ安定した経



済環境とは言えない状況であります。また政治も自民党政権から民主・社民・国民新党連立政権に変わり無駄な経費の縮減と事業仕分け作業に着手されて財政の健全化を図り「コンクリートから人へ」と政策方針が変わりつつあって地方財政への影響も少なからず変化が生じつつあり憂慮しているところでもあります。そのため私たちは国県の動向を十分把握し、見極めながら村民の暮らしと豊かさを追求する行政運営をしなければなりません。

これまで村民の弛まぬご努力とご協力によって苦しい時代を堪え忍び着実に村振興発展に邁進することができました。改めまして敬意と感謝を申し上げます。

さて、我が村も100年に一度といわれる世界的な経済不況にありながらも国の緊急雇用対策事業並びに地域活性化臨時交付金の支援によって地域の実情に応じたきめ細か

な事業が展開でき、これまでの地域から強い要望はあるが、事業採択に難渋していた小規模事業なども推進できました。又、地域振興の要である産業の振興・教育文化の振興・医療福祉の充実なども着実に推進しつつあります。

平成二十一年度はハード面においては、伊江中学校校舎の落成、さとうきび加工施設（黒糖工場）建設の推進、県営・団体営によるかんがい排水事業及び農地保全整備事業等、ソフト面においては出産検診時等に於ける宿泊及び船賃助成、高校生の船賃助成、幼児児童生徒のバス賃助成等を実施してまいりました。

また、長年牛どころとして知られ、各共進会での上位独占、系統優良牛の産地として高く評価され、肉用牛（子牛）拠点産地の認定を受けました。これで輪ぎく、とうがん、島らつきように次いで四品目の戦略品目となります。

平成二十二年に始まった北部振興事業も十年の歳月が経過し、二十一年度で終了予定であります。その北部振興事業にかかる、さとうきび加工



施設（黒糖工場）建設に当たっては、沖縄県並びに竹富町の合意を得るのに難渋致しましたが、議会を始めＪＡグループ、関係者のご支援とご協力を賜り十二月二十五日にギリギリに滑り込むことが出来、合意形成に至り工事着工の目処がついたことは特筆すべきことだと思えます。

このように幾多の事業推進並びに試練に耐えながらの平成二十一年度でありましたが、向かう二十二年度も村民の要請に耳を傾けながら「健康で明るく豊かな活力ある」村づくり村民をはじめ議員各位並びに団体のご協力とご支援

を賜りながら共に歩み、協働による「自主・自立」の村づくり誠心誠意努力を傾注して村政を進めてまいりる所存でありますので、これまでも増してご協力とご支援をお願い申し上げます。

## ● 基本的な考え方

国内外の政治経済は不安定な要素を帯び大変厳しいものがあります。国に於いては雇用対策及び経済危機対策などの施策が講じられ全体として緩やかな持ち直しが始まっていると言われます。自主財源に乏しく、国県からの依存財源に頼る本村は国の施策に一喜一憂せざるを得なく、相次ぐ景気浮揚対策は地方では有難い施策ではありますが、国の財政も逼迫しており、この対策事業も一過性のものと判断されることから努めて経費節減を図り、有効な行政運営を行うことだと思料致します。そのためには今後とも「受益者負担の原則」及び「負担の公平性」には更なるご理解を賜りますようお願い致します。

平成二十二年度も躍進する



年度として自立経済の構築や村民福祉の向上を図るうえで産業振興による雇用拡大、医療保健と福祉の充実、教育文化の振興等に取り組み村民が「健康で明るく豊かな活力ある」生活が営め、誇れる村づくり邁進することを基本に村民の参画と協働のもとに夢と期待の持てる伊江村づくりを基本姿勢として「村益優先、公正公平」の行政を目標に「最小の経費で最大の効果」を上げるよう次の項目を中心に全職員共ども誠心誠意を尽くし村政運営に当たってまいります。

(1) 「豊かで活力に満ちた潤いある村」を目指して農林水産業、商工観光業、製造加工業の振興を図り雇用拡大に努めます。

(2) 「生まれ育った故郷に誇りを持ち心豊かな村」を目指し、人材育成と教育文化の振興に努めます。

(3) 「健康と安らぎと思いやりの生活を支える村」を目指し、福祉の向上と医療保健の充実に努めます。

(4) 「美しい自然と住みよい環境の村」を目指し、環境を思いやる優しい心を養成し、自然を大切に花と緑にあふれた生活環境の整備に努めます。

(5) 情報化社会の進展に伴い、情報機器の開発と普及は目覚ましいものがあり、国県の指導支援をいただきながら企業を支援し、情報化時代の伸展に努めます。

(6) 国営地下ダム建設の促進と県営・団体営のかんがい排水事業を推進し、水利用の活用と生産向上に努めます。

(7) 伊江港の整備促進と「フエリーいえしま」の代船建造を伊江村旧軍飛行場用地問題地主会の協力を得ながら建造に努めます。

(8) アサヒビール株式会社の協力と支援を得てラム酒工場の建設とさとうきび加工施設（黒糖工場）の建設に努めます。



(9) 第18回伊江島一周マラソン大会、第15回ゆり祭り、第5回スナッグゴルフ大会、第5回ハイビスカス祭り並びに全国小中学生ゴルフ伊江島大会の開催や各団体等が開催するイベントの誘致を支援し、地域振興に努めます。

(10) 関東伊江島城会の20周年を支援すると共に伊江島の「村踊り」を広くアピール伝承し、同時に物産展を開催し、流通、販路開拓に努めます。

(11) 第4次伊江村総合計画(基本構想、基本計画)の策定に努めます。

## ● 主要施策

### (1) 農林水産業の振興について

本村は元来農水産業を軸に他産業との整合性を保ちながら発展してまいりました。そのことは議員各位並びに村民皆様のご努力とご熱意の賜であり、敬意と感謝を申し上げますと共に伸びゆく我が村を

想像しながら歩んで参りました。これも偏に、これまで頑張つてこられた為政者並びに先輩皆様のご尽力のお陰でありまして明日への前進と躍進する「豊かで活力に満ちた潤いのある村づくり」に知恵と英知を結集し取り組んで参ります。

又、これまでもさとうきび、葉たばこ、花卉、畜産、とうがん、島らっきょう等の生産向上に努めて参りましたが天候、自然災害、市場価格に左右される品目であり景気の冷え込みにより、急激な所得向上は望めない現状ですが耐えるべき時は耐え、各々の生産計画体制を確立し、歩まなけ



ればならないと思料致します。その為には農家並びに農業団体と連携を一層高め生産・流通、販路の開拓に努めます。

水産業については、沿岸区域の荒廃により、遠出を余儀なくされ、又水揚げの減少及び価格の変動、下落があつて大変厳しい状況にあります。その為これまで推進してまいりましたソデイカの「イカ墨じゅうしの素」イカ等を使った「イカ墨ギョーザ」のよいうな水産物に付加価値を付け販売促進できる商品の開発に努めます。また平成二十二年度はアイザメ漁の新漁法開拓漁具購入補助並びにシャコガイ稚貝の購入助成、中層型浮

漁礁の設置事業を推進すると共に伊江漁業協同組合と連携して漁業者の生産及び所得向上に努めます。

畜産業については、飼料作物の高騰、消費者の牛肉消費減などがあり、これまで安定していた価格が下落傾向にあります。まして憂慮しているところでもあります。しかしながら、本村の畜産農家は飼養管理と系統牛の品質改良の研鑽に励まれ、これまでも幾多の困難も克服なされ今日の畜産業が確立されており敬意を表している次第であります。購買者が望む優良素牛の生産並びに十歳以上の高齢母牛の更新に励んでいただきたいと思います。昨年本村は子牛の拠点産地として県の認定を受けており、平成二十二年度から十歳以上の高齢母牛を処分し、母牛更新を図るため、優良繁殖雌牛を購入・保留した農家へ助成を致します。また堆肥センターを建設し、牛糞等を活用した土づくりにより耕畜連携した農業を目指しますので畜産農家をはじめ関係者のご協力をお願い致します。



### (2) 商工観光業の振興について

組合並びに漁業商工観光産業の進展は地域経済の活性化と雇用拡大から極めて重要な産業であります。これまで推進しております伊江島一周マラソン、ゆり祭り、ハイビスカス祭り等の諸々のイベントは伊江村の経済活性化と雇用の面に寄与しております。又平成十五年から観光協会等が実施しております民家体験泊事業(民泊)はイージマンチュの人情と温かさが評価されて旅行業者並びに県内外の小中高校にも好評を博しております。これも偏に観光協会を始



め民泊に関わる皆様の努力と熱意によるものであり敬意と感謝を申し上げます。

このように受け入れた多くの皆様から喜ばれる村づくりを推進するためには村民一人一人が我が身のことと理解し美しく、人情の深いホスピタリティの村づくりに徹すると共にいつまでも「親しみ・愛され・喜ばれる」島づくりに英知を結集し、ともに歩み地域活性化に努めます。

### (3) 製造加工業の振興と雇用拡大について

本村の製造加工業は菓子製



造、黒砂糖製造等の小規模事業所が主であり、これといった企業の育成誘致もできない現状にありますが、近年は製造加工品には生産地の産地標示が義務づけられ「安心・安全」な新鮮食品の特産品加工が消費者のニーズであります。そのため昨年、特許庁へ申請し、村内で生産される産物並びに加工製品に表示をしていただくために「eー島」の表示登録を取得いたしましたので今後大いに活用され消費者に「安心・安全」で親しまれ、利用される生産地に努めていきます。

平成二十二年度は、農産物加工施設の充実、ラム酒製造委託及びラム酒カクテルラインの整備とさとうきび黒糖工場の建設、並びに堆肥センターの建設を行い若者の定住促進と雇用拡大に努めます。

### (4) 教育文化と社会体育の振興について

本村の教育目標は

①自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指し豊かな表現

力とねばり強さを持つ幼児・児童生徒を育成する。

②平和で安らぎと活力ある社会の一員として国際性を養い、郷土文化の継承発展に寄与し、国際化、情報化社会で活躍する心身ともに健全な村民を育成する。

③家庭・学校・地域社会・行政の相互連携に努め、時代の変化に対応する教育の方法を追求し、生涯学習社会を推進する。以上を目標に「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の育成」「基本的な生活習慣の形成」を基本方針と定め、

学校・家庭・地域・行政の連携とともに学力向上対策を推進しております。その成果は着実に出ており、PTA並びに村民の皆様から感謝を申し上げますと共に、明日の伊江島を担う子供達の教育環境の整備と伊江島で「生まれ育ったと誇れる」人材育成に努めます。

社会教育・社会体育の振興については、村民誰もがいつでもどこでも自らの意思によって学び行動できる、生涯学習社会の推進を図ります。そ



の為には各種団体の育成と連携並びに活動の充実強化が必要でありますのでその支援に努めます。

郷土文化の保護育成については郷土に対する愛着と誇りを持ち人々の心を和まし、褒め称え、励ます情操教育が大変大事であります。心豊かで文化の薫り高い村づくりと村の活性化を目指し、民俗芸能の保存・継承並びに古典音楽の保存継承と地揺育成に努めます。また伊江島の村踊りや県内外に広くアピールするとともに郷里伊江村に思いを寄せながら日夜頑張っている郷

友の皆様にも「誇れるイージマンチュ」として語り継がれ頑張っていたかどうか、今年度は関東伊江島城会の設立二十周年を祝うため県外記念公演を実施します。

スポーツについては、B & G 海洋センターに健康増進と競技力の向上を図る器具を備え、日頃から村民がスポーツに親しみ、参加することを促進します。

### (5) 住民福祉の向上と医療保健の充実について

健康と安らぎと思いやりの



生活を支えることは我が子、我が身同様の心を持ち、地域が一体となり歩まなければ安全・安心な生活の確保はできません。国県に於いては社会保障制度の充実を図るべく福祉の諸施策を検討されており、村に於いても福祉の充実が重要であり国県の動向を十分把握しながら福祉社会の構築に努めます。

安心して暮らせる保健医療の充実、離島であるが故に我が村にとっては大変重要な施策であります。医師の確保・看護師等の確保を行い村民が安心して生活が営められ



るよう努めてまいります。そのためには医師・看護師等も人であり過重負担にならないよう労働環境に村民のご理解とご協力が必要であります。

昨年はインフルエンザの予防対策として予防接種を村民に無料で実施しました。村民の健康を守る国民健康保険会計は医療の高度化や高齢化の進展により医療費が増加し大変厳しい状況にあります。また、平成二十年度からは疾病の予防の重視と医療費の適正化の観点から、生活習慣病予防を中心とした取り組みとして内臓脂肪症候群（メタボリック・シンドローム）に着目した特定健診・特定保健指導の実施が保険者に義務づけられました。生活習慣病の一次予防において保険者の果たす役割が明確化され、特定健診の受診率と特定保健指導による疾病予防の成果が見られ、後期高齢者医療支援金が加算されることになり保険料に影響します。そのため特定健診の受診率向上に対策を強化し、特定保健指導を通して医療費の抑制につなげ、国保財政の安定運営に努めます。



また幼児期・学童期における歯と口の健康は食事や言葉の発達に影響があるのみならず、整った口元を保って、豊かな人間を育成するためにも重要であります。そのため伊江歯科医院の協力を得て「フッ化物洗口」事業を行い八十才でも二十本の歯が保有でき、快適な人生が営めるよう推進に努めます。

#### (6) 生活環境の整備について

緑が生い茂り、花が咲き誇り、海浜地域が美しく道路が整備され、ごみが散乱していない村、そして交通事故等が

ない安全・安心で快適な生活が営まれている村は村民の心を和まし、本村へ訪れる皆様へ感銘を与え高く評価されることとなります。そのことが地域の活性化・振興に大きく寄与するものと思料致します。

本村は去った大戦後村民を始め多くの先輩方が緑の島づくりに英知を絞り頑張つてこられました。まだまだ緑が少ない現状であります。そのため平成十九年度に策定しました「伊江村農村環境創造整備計画」に基づき「人と自然が調和共存する環境づくり」を目的に防風林の植栽及び道路側等にハイビスカスなどの花木を植栽する運動を展開してまいります。

また、環境問題については、地球規模で温暖化防止について議論されている緊急課題であります。本村では、「ごみの減量化」について一般廃棄物対策推進審議会から頂いた答申を基に、ダンボールの再利用、紙パックの再資源化やエコキャップ運動など、資源の循環を考えた事業と環境教育を柱とした地域活動を推進するとともに、漂着ごみ対策、

不法投棄対策や地域ボランティアの育成などの環境美化事業を実施して、自然保護活動に努めてまいります。

村民一人ひとりがそれらのことにこれからも一層認識を深め協力し「美しい自然と住みよい環境の村」を目指し努力します。平成二十二年度も快適で潤いある村づくりのため、防風及び風致林の植栽並びにECセンターを中心にごみの分別、ハブの買上げ、廃棄物の処理、合併処理浄化槽設置事業を推進し生活環境の整備に努めます。



## (7) 情報通信網の推進と利用について



国は、世界最先端のIT国家及びユビキタスネット社会の実現に向け、U-Japan政策を積極的に推進し、情報通信技術（ICT）を活用したネットワーク化やデジタル化が急速に進展してきました。

本村においては、無線アイランド構想を掲げ、平成十八年度、総務省の「地域インターネット基盤施設整備事業」を導入し、公共施設二十六カ所を無線で結びました。また、このイントラネット事業を、より有効且つ便利なものとするため、平成十九年度には、総務省の提案型公募による委託事業の「地域ICT利活用モデル構築事業」に選定され、3年間の継続事業として、民泊事業の充実や高齢者福祉対策及び雇用促進、経済の活性化などを盛り込み取り組んで

きました。

さらに、平成二十一年度には、総務省の公募型交付金事業である「ユビキタスタウン構想推進事業」が採択され、携帯電話を活用した配信システムや小中学生を対象としたシネマスクールなど、文化面の要素を取り入れた事業を展開しています。

平成二十二年度は、これまで国と連携を図り行ってきた超高速衛星通信の実証実験が一定の事業評価を受けましたので終止符を打ち、次なるステップとして、補助率の高い公募型事業を積極的に導入すると共に、村の地域支援センター業務を行う株式会社アイ・イー・アイとタイアップして、ユビキタスタウン構想に沿った、メールやブログ・SNS等、コミュニケーションツールを活用し、個人にお



ける情報発信・情報共有が活発に行われ、安心で安全な利便性の高い社会の実現に向け、取り組んでまいります。

## (8) 基地行政について

昨年我が国は民主党連立政権に変わり市街地の中心にある普天間飛行場の移設について、県外若しくは国外等へ移すべきだと論議が展開されており、鳩山総理は移設先を3月中に政府案を提示し、候補地市町村米国と協議すると国会で答弁をされております。

提供地を抱えている本村にとっても早期に移設先が決定されることを望んでいます。移設先が論議される度に伊江島補助飛行場がクローズアップされ村民に動揺を与えていることを甚だ遺憾に思っている次第であります。これからも基地行政については社会情勢、村内の基地の動向も見据えながら村益を常に考慮し是非々で対応してまいります。

国営地下ダム建設に関連して海兵隊の伊江島分遣隊の移転については訓練場を管理す



る訓練作戦部（G5）との面談ができなく協議調整が進まない状況にあります。早期に叶うよう沖縄防衛局、伊江島分遣隊を通じ打診しております。調整内容を聞いたうえで近接する真謝区の皆様及び関係する皆様と話し合いをして地下ダム建設の推進に努力してまいります。

旧軍飛行場用地問題については、第3次沖縄振興計画の期間中に解決を見ないと、問題は立ち消えになる可能性があります。つまり残された時間はあと2年です。本村の旧軍飛行場用地問題地主会では、個人補償の可能性

はないため、団体方式として様々の振興事業を検討いたしました。最終的には行政と一体となって、カーフェリー建造1本に絞り、国県へ要請するとともに、前原沖縄担当大臣の来村時にも要請を申し上げ調整の結果、特定地域特別振興事業（一名「特別調整費」という）の支援について、特段のご高配をいただくことができました。

このことは伊江村旧軍飛行場用地問題地主会の皆様の地域振興に対する最大のご配慮のお陰であり、深甚なる感謝を申し上げるものであります。お陰さまでフェリー建造に向けて調整をしているところであります。

## (9) 公営企業の充実について

離島の安定した生活基盤を築くには船舶の航行安全と充実が必要であることは申し上げるまでもありません。フェリー2隻を所有し、平成二十一年度も無事故で運航することができました。しかし、ここ2～3年は世界的な燃油高



騰によって船舶経営が厳しく大変憂慮しておりましたが村民の寛大な心とご協力を賜り運賃値上げをさせていただきました。そのお陰で経営も安定し、バリアフリー化を目指す新船建造にも目処が立ち、平成二十一年度から船舶建造検討委員会で調査研究を進めているところであります。平成二十二年から二十三年に亘り、フェリーいえしまに代わる新船を建造して快適な船旅が堪能できる交通機関として利用され、村民の活動と本村の活性化に繋がるよう最善を尽くします。

水道事業会計については、

ご案内のとおり本村は河川もなく、湧き水にも乏しく、自己水確保は天気に大きく左右されるなど、特に、雨が少ない時期には県企業局からの受水に頼らざるを得ない現状にあり、水道会計の運営も大変厳しい状況であります。平成二十二年度は、村民並びに利用者皆様の、生活保持に関わる老朽管改修工事を道路工事と並行して実施し、早めに着工出来るよう努めてまいります。また水道事業の果たす使命を十分認識し、自己水の確保、漏水防止に努め、生活水の「安心・安全」を第一に考え、経営の健全運営に努めます。

### (10) 国営・県営事業について

国及び県の支援によって順調な事業が進捗しておりますが、村内にはまだ国県の直轄事業で整備を要する箇所が数多くありますので今後必要請を申し上げてまいりたいと思います。

平成二十二年度の国・県の事業は次のとおりであります。

国営	国営水利事業(地下ダム)	継続	ダム止水壁・用水路工・ファームポンド工
県営	県営治山事業(保安林保育事業)	継続	カヤ原地区・東江上地区
	県営かんがい排水事業	継続	東江上地区・アマギ地区
	県営農地保全整備事業	継続	川平第1地区
	県営農地保全整備事業	継続	川平第2地区
	伊江港港湾改修事業	継続	伊江港防波堤(南)工事消波ブロック製作・据付

### (11) 予算概要について

中東情勢や地球環境問題等が提議され、国際的にも行き先不透明感が漂っている状況の中、世界経済も雇用が悪化するなど深刻な状況にあります。

我が国においては、景気浮揚対策、緊急雇用経済対策が功を奏し、全体として緩やかに持ち直しつつありますが、依然として厳しい状況にあります。更に国では第2弾の事業仕分けが実施されており公共工事においては厳しい反面、子育て支援対策並びに各種の無料化などが進められており、自治体負担にどのような状況で

波及するか見えないところがあり懸念しているところです。

このような情勢の中にあつて本村の平成二十二年度の一般会計の当初予算は元気な地域づくり交付金事業、団体営農地保全事業、アマギ溜池改修工事等の施工により対前年比八・八%増の四五億八千五百万円の計上となりました。また本村の特別会計を含めた七会計の合計は六四億一千七百万円で対前年予算の比較では六・二%増となり内訳は次のとおりであります。

会計別予算額調査(案)

(単位:円)

会計名	本年度予算額		前年度予算額	増減	伸率(%)
	予算額	うち一般会計からの繰出金			
一般会計	4,585,000	0	4,212,000	373,000	8.8
診療所特別会計	151,000	45,000	158,000	△7,000	△4.4
国民健康保険特別会計	979,000	128,217	963,000	16,000	1.6
後期高齢者医療特別会計	54,000	17,505	53,000	1,000	1.8
老人保健特別会計	212	195	1,100	△888	△80.7
船舶運航事業会計	504,573	0	512,772	△8,199	△1.6
水道事業会計	143,331	0	143,331	0	0
合計	6,417,116	190,917	6,043,203	373,913	6.2

## ● おわりに

現下の厳しい時代を乗り越え安定した村を築くためには村民と行政及び各団体が一致協力し、深い絆と信頼関係が必要であります。私達行政にいる者は当然村民の奉仕者として村民が何を求め希望しているかを的確に把握し、知恵を絞り行政を推進しなければなりません。

平成二十二年度も村民をはじめ議員各位のご協力とご支援を得て全職員一丸となつて「健康で明るい豊かな活力ある村づくり」を目指し頑張つてまいりますので深いご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげまして私の所信の一端とさせていただきます。

伊江村長 大城 勝正





**ハイビスカスを  
村の花木に指定しました。**



伊江島ゆり祭りに次ぐ花のイベントとして、伊江島ハイビスカス祭りを開催し、村を代表する花木の一つとなっているハイビスカスを伊江村振興計画審議会等の意見を拝聴し、平成22年3月5日付けで村花木として追加いたしました。

伊江村で育種されたハイビスカス「百年祭」



村花木：サルスベリ



村木：ガジュマル



村花：てっぽうゆり

平成18年度から村内にイベント等を通して、約2,000本のハイビスカスの無料配布や、公共用施設及び公園・道路に約8,000本の植栽等を行い村一円に約10,000本のハイビスカスが普及しています。村花木はこれでサルスベリとハイビスカスの2品種となります。

## ● 伊江村役場職員人事異動 ●

(発令：平成22年4月1日付)

## ○課長職異動

【異動】	
氏名	異動後
具志川豊秀	企画総務課長
知念貞博	住民課長
西江正	福祉保健課長
宮里徳成	商工観光課長
古堅和昌	農林水産課長
照屋善市	議会議務局長

  

【異動】	
氏名	異動前
具志川豊秀	住民課長
知念貞博	福祉保健課長
西江正	商工観光課長
宮里徳成	農林水産課長
古堅和昌	建設課長
照屋善市	企画総務課長

○一般職員

氏名	昇任後	昇任前
並里晴男	建設課長	建設課補佐
大城勝彦	船長	次席船長
宮里清光	1等航海士	2等航海士
大城哲	2等航海士	甲板員
知念利次	建設課補佐	建設課主任技師
知念明美	教育委員会補佐	農林水産課主査
万寿祥久	海洋センター所長	建設課主査
大城さき子	看護師長	主任看護師
坂本美保子	主任保健師	保健師
内間枝利子	主任看護師	看護師

【異動】

氏名		異動後	異動前
金城和廣	建設課補佐	企画総務課補佐	企画総務課補佐
大城強	企画総務課補佐	住民課補佐	住民課補佐
金城渡	住民課補佐	福祉保健課補佐	福祉保健課補佐
知念富太郎	福祉保健課補佐	公営企業課	教育委員会補佐
照屋裕美	公営企業課	建設課	出納室
新城米広	建設課	住民課	企画総務課
大城由紀	住民課	出納室	建設課
兼謝名睦子	出納室	住民課	住民課
横山公一	住民課	公営企業課	県実務研修派遣
知念淳	公営企業課	建設課	介護保険連合派遣
知念一輝	建設課	住民課	農林水産課
宮里裕子	住民課	介護保険連合派遣	福祉保健課
山城麻衣子	介護保険連合派遣		企画総務課

## 浮き球で ドクターヘリ募金箱

救急ヘリを運航するNPO法人MESHサポートの支援と今後の運航継続を願い、村川平の「居酒屋いっぱいや」とダイビングショップ「TAIYO MARINE」で集まった募金71,476円が25日、MESHサポート副理事長の阿部好弘伊江村立診療所所長に手渡されました。

「いっぱいや」に集まる伊江中24期卒業生の模合仲間が中心となり、海岸に漂着した漁業用の浮き球をドクターヘリに見立て、村内2カ所で募金活動を行いました。

贈呈式では同サポート事務局から2カ所にお礼状

が阿部副理事長より手渡され、阿部所長は「私達の活動に賛同してくれて大変ありがたい。離島医療に従事していて、離島のハンディはよく分かる。今後も伊江島の医療に従事しながら活動を続けていきたい。」とお礼を述べました。



## 西小学校6年生 一年間給食完食達成!

西小学校の6年生24名は1年間給食を残さない学級目標を掲げ見事達成しました。

この学年は、低学年から偏食や給食残量が多く、新学年スタートの際に学級で取り組める目標を決めようと話し合っ

て決めた。担任の西江剛教諭は「本人たちも食が細く、体格にコンプレックスがあるということで、大きくなる為には、毎日の給食を残さず食べる

ところから始めようとスタートした。食事に対して感謝の気持ちが芽生えてきた。」と話した。

取り組んだ。

阿波根昌樹君は「好き嫌いが多く大変だったけれど、家でも好き嫌いをしないようにしている。食べることの大切さを学んだ。」と小学校最後の給食を食べ終え194日間にわたる挑戦の達成を喜びました。



## 北部地区初の「ライフガードレディース」誕生



沖縄県漁業協同組合連合会及び第十一管区海上保安本部では、漁船海難防止及び漁船海難に伴う死亡・行方不明者の減少を目的に、海船乗船者を対象としたライフジャケット着用率の向上のための推進活動を実施しています。

3月16日、北部地区では初となるライフジャケット着用推進員「ライフガードレディース：Life Guard Ladies（通称LGL）」として、伊江漁業協同組合婦人部17名を委嘱しました。

委嘱式で伊藤敦史名護海上保安署署長は「県内では昨年、一昨年とも4件の漁船から海中転落事故が発生し、海中転落した人8名中7名が死亡・行方不明となっているが、事故に遭われた方々はジャケットを着用していなかったことが判明している。この活動を通し事故のないちゅら海が実現されることを期待している。」と挨拶しました。

新垣澤子伊江漁協女性部長は「私たちが活動することで着用者が増え少しでも、海難事故が減少することを目指します。」と意気込みを語りました。

## 62期生が 24チームの頂点に

第28回伊江中卒各期対抗野球大会（伊江クラブ東江正志会長：主催）が21日、村内4会場で行われました。

今大会は31期生（1963年生）から3月に卒業したばかりの62期生（1994年生）まで過去最多となる24チームが出場。各会場は久々に会う級友との再会に賑わいを見せていました。



決勝戦では、前年優勝チーム（45期生）を初戦で破り勢いに乗った62期生と大会最多優勝経験のある39期生（1970年）との対決となったが、序盤は両チームの投手が打線を抑え投手戦になるかと思われたが、終盤、本日4試合目と疲労が見えた39期の際を突き大量得点を入れ結果11対0で初優勝を飾りました。

完封に抑えた大城渉投手は「少年野球でコーチをしてもらった方々との試合で緊張したが、成長した姿を見せたので良かった。卒業記念にいい思い出作りとなった。」と話しました。



各個人賞は次の通り。（敬称略）  
最優秀選手賞：大城 渉(62期生)  
優秀選手賞：玉城正朝(39期生)  
打撃賞1位：東江京介(62期生)  
2位：蔵下祐人(62期生)

## 島の特産品もPR

JAおきなわファーマーズマーケット（名護）では13日、村内各団体の協力のもと「伊江島特産品

フェア」が開催されました。

フェアでは、伊江島産の和牛や島ラッキョウ、人参、紅芋などの新鮮野菜をはじめイカ墨じゅーしいの素、マグロジャーキーなどの魚介加工品も販売され、伊江島の特産加工品をPRしました。

JAおきなわ伊江支店青年部は伊江島和牛を使った牛汁を販売500食を用意していたが、1時間で完売したほか、島ラッキョウは30分と他の野菜や加工品も次々と完売となる盛況ぶりを見せました。

大城勝正村長は「こういう場が開催されることは大変うれしく思う。この機会を通して島の特産品を多くの人たちにPRするとともに、今後も特産品フェア開催に取り組みたい。」と話しました。

また同日沖縄離島共同市場「島人ぬ宝プラザ」にても、伊江島と八重山諸島の情報発信と特産品紹介が開催され好評を得ていました。



## 未来の映画監督を目指して

総務省の「ユビキタスタウン構想推進事業」での取り組みで行われました「伊江島映画スクール」の閉校式が行われました。

1月から3月までの3カ月間で学んだことを卒業制作発表会と題し伊江中学校視聴覚室にて行いました。幼稚園生から上は一般の方までの計20名の生徒達が映画とは何か、映画の作り方、撮影方法など映画についての多くを学びました。

卒業証書の代わりにロゴが入った腕章が授与され、受け取った子供達は「撮影をするのが楽しかったです」「これからも撮影をして色々な人に観てほしいです」と感想を述べました。

また、ジョージ・ルーカスの弟子で、スクールの講師を務めた國井さやかは「短期間ではあるが、子どもたちの感性は素晴らしい一緒に勉強ができて良かったです。これからも色々な映像をたくさん撮ってほしいです。」と話した。





# 満1歳 お誕生日 おめでとう



**並里海音** (みおん) ちゃん  
性別: 女  
生年月日: 平成21年4月21日生  
父: 並里祥平  
母: 並里美穂  
行政区: 西崎  
笑顔がカワイイ女の子になーれ♡



## 役 場

**名渡山 望**  
昭和59年生 (25歳)  
阿良区出身  
趣味・特技  
バレーボール

農林水産課に配属になりました。生まれ育った伊江島をより良い島に出来るよう、また村民皆様の意見を聞けるような職員目指して一生懸命頑張っていきたいと思います。



## 西崎区長

**照屋 徳一**  
昭和27年生 (57歳)  
西崎区出身  
趣味・特技  
現今は無、将来はゴルフ??

新任区長としてどう公民館運営をしたらいいのか目下模索中、気を引き締めて頑張りたいと思います。区民の皆様ご指導よろしく、御願い致します。



## 東江前区長

**城間 正** 52歳  
昭和32年生  
東江前出身  
趣味・特技  
ゴルフ

伊江島カントリーで、たまに80切ることが出来ます。苦手なのは、陸上 特に短距離がだめです。

## 新人さん 紹介

がんばります!



## 看護師

**喜屋武 いずみ**  
昭和44年生 (41歳)  
川平区出身  
趣味・特技  
アロマ、お菓子作り、旅行、フルート

ただいま! 数十年ぶりに伊江島に帰ってきました。皆さんの顔と名前を早く覚えることが出来るように努めていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



## 役 場

**山城 隆二**  
昭和60年生 (25歳)  
うるま市出身  
趣味・特技  
テニス賞

伊江島に来て、まだ2年。まだまだ、分からないことがありますが、島の皆さんに教わりながら頑張りたいです。よろしくお願いします。



## 船 船

**松永 智也** (27歳)  
昭和57年生  
川平区出身  
趣味・特技  
ドライブ

先輩や上司、船舶OBの皆さんに負けないように頑張ります。よろしくお願いします。



## 役 場

**友寄 雄太**  
昭和58年生 (26歳)  
東江前区出身  
趣味・特技  
野球

住民課介護保険担当になりました。お世話になった方々への感謝の気持ちを常に持ち、村民皆様の為に頑張りますので、よろしくお願いします。

## 長い間 ご苦労さまでした

3月31日付けで、定年・勲奨退職にて玉城徳久(議会議務局長)・金城博三(船長)・知念朝子(教育委員会補佐)・宮城由美子(公営企業課補佐)・知念美枝子(住民課主査)・知念園子(公営企業課主査)・仲宗根キヨ子(看護師長)・玉城尚美(准看護師)・比嘉敏治(建設課補佐)・永山納美(保育士)の皆さんが退職しました。

これまで、各々の立場で地域住民へのサービス向上にご尽力くださいました。



## 御寄付御礼

### 【人材育成会】

●伊江中18期生一同様  
六万円

●東江前五二四番地  
東江 光子様

●故夫正徳様の香典返しとして  
十万円

●東江上二五九六番地  
山城 孝信様

●故親族知念ツネ様の香典返しとして  
十万円

### 【社会福祉協議会】

●東江前五二四番地  
東江 光子様

●故夫正徳様の香典返しとして  
十万円

●東江上二五九六番地  
山城 孝信様

●故親族知念ツネ様の香典返しとして  
十万円

●与那原町字板良敷四六六番地一  
友寄 隆朝様

●故母ウト様の香典返しとして  
十万円

●東江上一九三番地  
大城 竹次様

●故父竹義様の香典返しとして  
十万円



伊江中18期生一同様

紙面を借りて御礼申し上げます。